

# ともしび

第035号  
発行  
両毛病院  
編集 広報委員会

## 院長通信

東日本大震災、福島第一原発事故から1年以上過ぎましたが、いまだに解決のめどさえついていない問題が山積しています。特に原発事故関連は泥沼の様相を示しています。

人間は他の動物と違い、火力を利用することができるようになってから格段の進歩をとげてきました。つまり『火』をうまく利用することによってその恩恵を享受してきたわけです。しかし100%安全に『火』利用してきてはどうか。いまだに火事をなくすることはできません。火傷を予防することも100%ではありません。また水力についても100%コントロールできているとはいえない状況です。ダムなどを造ってコントロールしている気になっていますが、東日本並みの大震災がダム周辺で起こった場合原発以上の脆弱性を露呈してしまうのではないのでしょうか。

『100%安全』という基準を人工物に求めることが果たして可能なのでしょうか。耐用年数などの問題もあり、まず無理だと私は思っています。『100%』に限りなく近づける努力は常

に持ち続けなくてはなりません。はじめから『100%安全』ということを目指してしまおうと、とても達成するのは無理だと考え何事も進まなくなってしまうと思います。また『100%安全』だと人々が思い込んでしまおうと人間の注意力に油断が生じてしまうと思います。

原発に対して100%安全を求めるなら、事実上再稼働はむずかしいと言わざるを得ません。しかし99%安全でも1%安全でないことを理由に再稼働を認めないという人が日本全体の過半数を超えているなら、原子力発電はあきらめざるを得ないのではないのでしょうか。今回の原発事故でもハード面では結構安全が確保されていたにもかかわらずそのハード面を利用するソフト面(人間の能力)の訓練ができていなかったと聞いています。つまり自然災害以外に人的災害としての要素も考えなくてはならないということです。

我々医療分野でも事故防止は重要な命題です。ハード面での事故防止対策に限度があるのはすでにわかっていることであり、ソフト面での努力を常に肝に銘じておく必要があります。

第324号 院長 秋山 一郎

## AD/HDDって、どんな病気?

その3

### 『おとなのAD/HDD』

前回、前々回と舌/舌(注意欠陥多動性障害)の症状や診断、そして対処法、治療についてお話ししましたが、主には子どもさんでの話をしたかと思えます。

そこで今回はおとなの舌/舌についてお話ししてみたいと思います。

まずおとなの舌/舌で有名になったのが『かたづけられない女たち』です。夕方のテレビの特集などで若い女性でも一人暮らしの自分の部屋を片付けることができず、結果ごみ屋敷のようになっているというドキュメンタリー番組がいろいろな形で放映されました。買って着ない服や食べたものの残骸が部屋中に広がり、足の踏み場がなくなり、テレビ局のスタッフやそうじの専門業者が入って部屋を一緒に片付け、あー大変!という内容なのですが、こういったおとなの女性は実は舌/舌なのではないかという話につながるのです。こういった特集を観て、片付けられない自分は舌/舌ではないかと外来にいらっしやった患者さんもたくさんいました。

結論からいいますと、こういった女性たちの中に、舌/舌の患者さんもいらっしやいます。片付けが下手だからといって即AD/HDDというのは性急です。過去の生育歴や現在の症状など、すべてを包括しての診断になります。やはりおとなの場合、昔の記憶などは結構あいまいなもので難しいのも現状です。小さいころ通知表に「落ち着

きがない」「整理整頓が苦手」と書かれた子供さんはかなりの割合でいますし、それだけで舌/舌だったとするのもどうかと思います。ですので、本人以外の人から小さいころの状態を聞かせていただいで、総合的な判断で舌/舌と診断がつくこととなります。

おとなになりますと舌/舌の方でも子どもの頃より多動はおさまってきており、あまり目立たなくなりますが、不注意や実行機能に問題がある場合があります。仕事でのミスが多い、忘れもの・失くしものが多い、片付けられない(整理整頓が苦手)、ものごとを順序立てて考えられない(優先順位をつけて行動できない)、だから時間にも遅れる、ものごとを衝動的に判断する、車の運転が荒い(交通違反が多い)などなど、たくさん挙げられます。こういったものは今まで、その人の性格ととらえられており、仕方のないものと考えられてきました。しかし最近ではこれらの症状は舌/舌からくるものであり、脳の病気であるから治療ができるという考えに少しずつシフトしてきています。もちろんすべての人、すべての症状に薬物療法が効くわけでもありませんが、職場での仕事のミスなどで周りからの評価が下がったり、自分自身が自信を失ってしまうなど、社会適応上問題があれば、精神科で相談するのも手かもしれません。ただし薬物療法に関しては諸外国にならって日本でも、おとなの舌/舌に対する薬物療法の認可が下りる予定ですが、もう少し待つ必要があります。

医師 中村 晃士

だるま落としは超むずかしい

1月24日、3階作業療法室にて患者さん達の新年会が行われました。

外のお天気はそんなに良い天気ではありませんでしたが、みなさんニコニコと晴天の思いで行われました。

まず福笑いから始まりました。手ぬぐいで目を覆い、上手に目や鼻をつけて可愛い顔のお福さんやひよっとこ顔など、様々で個性豊かな顔が出来上がりました。

だるま落としは中々難しく、成功率0%でしたが、みなさん何度も挑戦をして夢中になって頑張りました。

コマ回しやけん玉もやり、子供の頃を思い出した懐かしいものでした。

のどが乾いた頃には甘酒も振るまわれ、心温まる楽しいひとときでした。

この一年、楽しく元気で過ごせましたように!!

アシスタントナース



絶品耳うどん!

1月18日、家族会の新年会で恒例の耳うどん作りをしました。私は実際食べたことが無く、目にした事もありませんでした。ご家族の方達と語りながら楽しい雰囲気の中、沢山の絶品耳うどんが完成しました。

生憎の雨の為とても寒い日でしたので、もちもちの耳うどんが心身共に暖めてくれました。格別の味わいとなりました。

また、食後はミニコンサートも催され全員で歌を唄い楽しく過ごしました。参加された患者さんの中には「来年も又、食べたいなあ」とか「毎年参加してるけど本当に美味しかったよ」との言葉も聞かれました。

これからも『家族会』の活動が、患者さんと家族の交流、意見交換等が気軽にできる場としてお役に立てればと思います。

アシスタントナース

3月6日、作業療法室にて、ひな祭り行事が行われ、初めて参加させて頂きました。

アシスタントナース



引き継ぎたい行事

3月6日、作業療法室にて、ひな祭り行事が行われ、初めて参加させて頂きました。

まずはじめに、ひな祭りはいつ頃から始まったのかという質問に、皆さんそれぞれ思い思いの発言をしていますが、私も深く考えた事はありませんでした。答えは平安時代からの様です。

皆さんとひな祭りの歌を歌い、鳥取りゲームを行いました。新聞紙を島に見立て、ジャンケンをして負けたら、島が小さくなるゲームです。島の上立つてやるので、立って居られなくなったら終わりなのですが、片足になってしまうとよるよるしてしまつので、スタッフに助けってもらいながらの勝負でした。やっている人の顔は真剣で、見ている人は、とても楽しそうな顔で応援していました。

行事に参加して、行う意味や大切さを改めて学ぶことができました。今後は私も面倒がらずに、娘の為に皆様を飾り、良き行事を引き継ぎたいと思いました。

アシスタントナース

アシスタントナース

アシスタントナース



新・チャリンコ会発足

昨年の12月末に始まった、デイケアのチャリンコ会です。次々とプロگرامが立ちあがったなかで、私たちの所属するチャリンコ会もその一つです。

歩くと遠すぎるけど、車で行くほどではない...そんな場所へ自転車で繰り出し、サイクリングや買い物を楽しむ、そんな会です。

体力もつくかも!?それでは主要メンバーから挨拶です!  
会長「風を感じられるとても楽しい会です。皆さんも参加してみませんか!」  
副会長「皆さんも自転車で素敵な汗を流しませんか。ご参加待ってます」  
サク花「色々な所に、出かけませんか?」  
楽しいし、健康にも良いですよ」  
焼魚君「自転車で、メンバーになって買い物に行つて、楽しもう」

月に2回行っています。みんな楽しくやっています。気になつた方は是非私たちに声をかけて下さいね

心理技師

心理技師

心理技師



### 委員会活動紹介

サービス向上委員会は、外来患者さんを対象に『患者様満足度調査』を行いました。

#### 調査目的

より良い医療サービスをお届けするため、当病院の評価・満足度を把握し、その問題点の改善や満足度の向上に役立てることを目的としました。

#### 調査対象及び期間

外来患者様を対象としアンケート形式で、平成24年2月の1ヶ月で行いました。

調査結果(グラフの数値は、5段階評価を平均したものです)

回答数・・・380件

#### 患者様の声(例)

駐車できない場合、どこに車を停めていいかわからない時が多々あり困る。

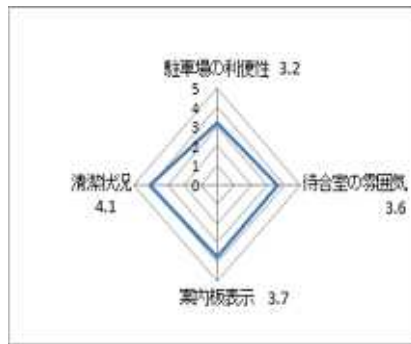
駐車場が空くまでまってから病院に入っています。

#### 病院の回答

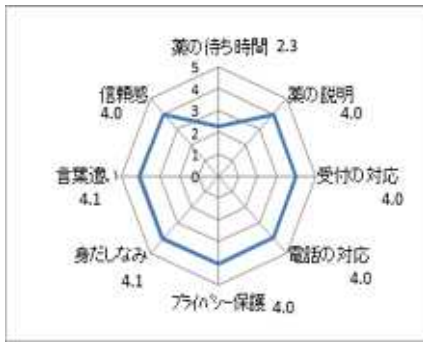
以前より駐車場が狭いと指摘があり、通りの北側に新しい駐車場を借用するなど駐車できるスペースを広げております。また、予約状況などで混雑が予想される日などは職員を配置したり等、手段をとるよう致しました。

他にも多くのご意見や感謝の言葉を頂き、ありがとうございます。調査結果を元に今後のサービス向上に生かしたいと思っております。またご意見・ご要望についてのお答えを外来待合室に掲示しましたので、ご覧頂ければと思います。この場をお借りしアンケートにご協力いただいた方に感謝申し上げます。

#### 環境に関すること



#### 薬局・事務に関すること



サービス向上委員会

### 草もちつきに参加して

3月27日に毎年恒例の草もちつきが行われました。天候は晴れていましたが肌寒い陽気でした。

カラオケから始まり、患者さんやデイケアのメンバーの方が積極的に歌っており、笑顔が見れて嬉しく感じました。

草もちつきでは患者さんと職員が連携でもちつきをしました。私は草もちを作ったことはなく、力仕事なので大変だと思いました。患者さんやデイケアのメンバーの方は、できあがった草もちを美味しそうに食べて、あっという間に終わってしまいました。

患者さんは「おいしかったよ」と笑顔で話をされて良かったです。病院の食事メニューにも草もちが出ないので、入院患者さんも大変喜んでいたので、来年の草もちつきでも、患者さんの笑顔を楽しみにしています。



看護師

### やったく！銅賞です

栃木こころの絵画・書道展が2月22と23日の両日、県総合文化センターで開催されました。

今年で第10回目になる展示会は、精神科の患者さんが作業療法やデイケアの活動で創作した作品を展示して、優れた作品は表彰を受けます。

当院のデイケアでは17年前より外部から講師の先生を招いて、絵画と書道を活動の中に取り入れています。患者さんの作品は外来待合室や食堂に展示されていて、今回絵画と書道各6点を展示会に出品しました。

展示会では県内の各施設から素晴らしい作品が集められた中から、当院の横塚菜穂子さんの作品が書道作品部門の銅賞の栄冠に輝きました。

受賞おめでとございます。受賞者のコメントです。

「『挨拶』とてもいい言葉なので、皆さんに気持ち伝わる様に力を込めて描きました。」



広報委員会

**【外来診療のご案内】**

**診療科目** 精神科・内科  
**受付時間** 初診 午前 8:45～11:30  
 再診 午前 8:45～12:00  
**診療時間** 午前 9:00～12:30  
 (専門外来 毎週水曜日 午後 2:00～)

- \* 外来診療 月～金・第3土曜日(第1・2・4・5土曜日の診療は、電話にてお問い合わせ下さい。)
- \* 外来診療は予約制になっておりますので、初診の方も事前にご予約をお願い致します。その他、ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。

**【外来担当医師表】**

	初診・当日受付	予約再診	予約再診
月	秋山 伸恵 (初診)	高山 晃司	
	秋山 佳子 (当日受付)		
火	佐々木 美和子	秋山 佳子	山本 卓二
水	秋山 恵一	秋山 伸恵	中村 晃士 1
木	山本 卓二	秋山 伸恵	杉原 亮太
金	高山 晃司	佐々木 美和子	
土	当番医制		

**1 児童・思春期・発達障害専門外来**  
 毎週水曜日の午後に行っています。  
 18歳未満で下記のようなお子さんが対象になります。  
 情緒不安定・不登校・問題行動がある・幼稚園、保育園、小学校などで発達障害を指摘されたなど、診察を希望される方は、電話にてご予約下さい。

**【交通のご案内】**

- \* 自動車でお越しの方  
 佐野田沼IC(北関東自動車道)より7分  
 佐野藤岡IC(東北自動車道)より15分
- \* 電車でお越しの方  
 佐野駅(JR・東武)よりタクシーで5分  
 堀米駅(東武)より徒歩7分

**【編集後記】**

年度が変わって、皆さんの生活も一年で一番変化のある季節を迎えているのではないのでしょうか。広報委員会も新年度の委員が決まり、新たな気持ちで4月を迎えました。今後も皆さんのご意見とご協力を頂きながら、広報誌『ともしび』の編集を行っていきたく思いますので、よろしくお祈いします。  
 長年広報委員として活躍された田名網実さん、平井美智子さんお疲れさまでした。

医療法人 秋山会

**R 両毛病院**

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町1648  
 TEL 0283-22-6150 FAX 0283-22-6159  
 ホムページアドレス <http://www.ryoumoubyouin.jp/>  
 <広報委員会>

